

# やさいレポート（令和6年12月号）

# ねぎ

発行日：令和6年12月6日

## 1. 卸売価格の動向

○**528 円/kg**（12月3日）

➢ 平年比：153%

○12月の価格見通し

前半：高値水準で推移

後半：平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

## 2. 小売価格の動向

○**807 円/kg**

（11月8日全国平均）

➢ 前月比：84%、平年比：119%

➢ 東京：221 円（2本）

➢ 大阪：123 円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：10/20（前月4/20）

➢ 大阪：7/10（前月3/10）

（機構調べ）

## 3. 家計消費動向

○**124 g/人**（10月全国平均）

➢ 前月比：120%

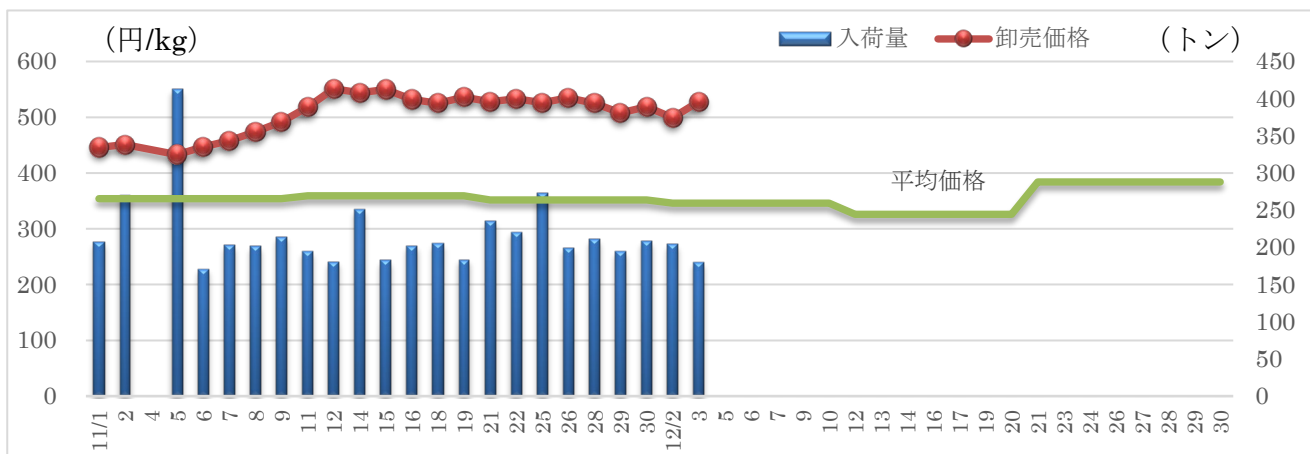
➢ 前年同月比：103%

○**1,498 g/人**（2023年年間）

➢ 前年比：91%

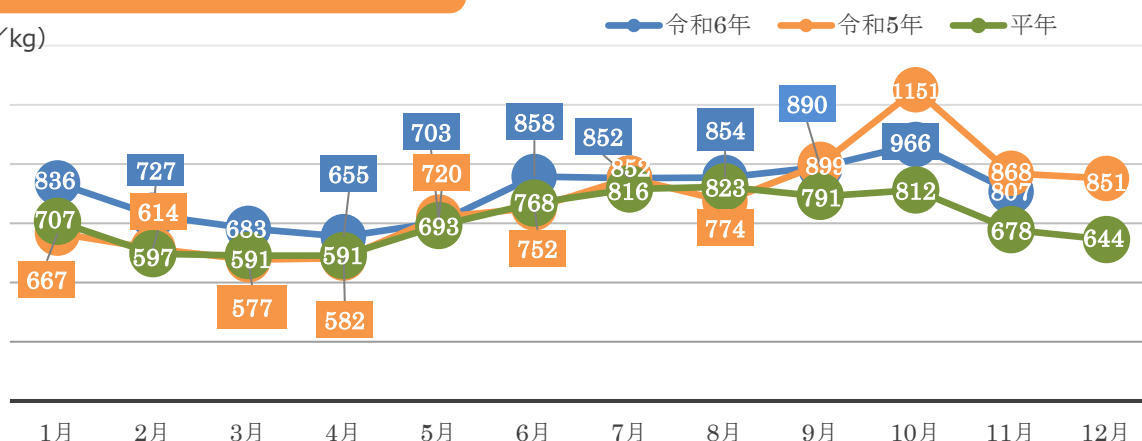
（総務省統計局家計調査）

## 4. ねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



## 5. ねぎの小売価格の推移

（円/kg）



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県津軽北西部 (9/3)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
茨城県西 (7/17)	前年並み	平年並み	やや早い	やや早い
埼玉県JAふかや南部 (11/28)	前年並み	やや不良	遅い	遅い
千葉県JAちばみどり (11/8)	前年並み	平年並み	遅い	遅い
静岡県磐田 (11/22)	減少	やや不良	遅い	遅い
鳥取県鳥取西部 (10/23)	前年並み	不良	遅い	遅い
大分県豊後高田市 (11/7)	前年並み	不良	遅い	遅い

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



千葉県 JA ちばみどり：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (12/07~01/03)

		通別の天候		
12/7~ 12/13	北日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
12/14~ 12/20	北日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
12/21~1/3	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低50 並30 高20% 低い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側	低50 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% 少20 並30 多50% 多い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
東日本	日本海側	低60 並30 高10% 低い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み
	太平洋側	低50 並30 高20% 少ない見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% 少30 並30 多50% 多い見込み
西日本	日本海側	低60 並30 高10% 低い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側	低50 並30 高20% 少ない見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (生鮮ねぎ)

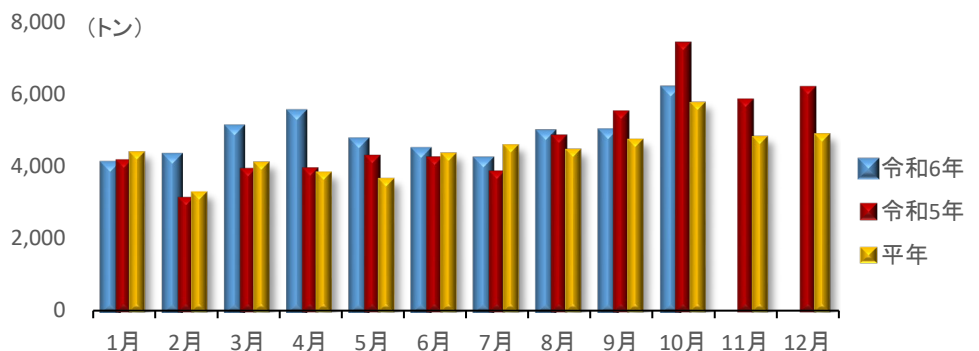
○6,100トン (10月輸入量)

➤ 前年同月比：82%

○輸入先国ベスト3

全量中国からの輸入

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

11月は、東北産が減少するなか関東産が高温・降雨による病害により遅れ端境となり、気温の低下に伴い需要増えるものの不足感

12月は、青森、秋田からの入荷が減り、茨城、千葉などの関東産が増えてくる。下旬には年末需要も活発になり入荷も増えることから、前半は平年を上回り、後半は平年並みに推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793